土木事業のストック効果

ストック効果とは産業や生活を支える道路や河川、港湾などにより得られる中長期的な効果です

防災・減災　安全・安心度を向上

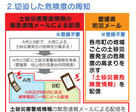
土砂災害対策の推進

ハード対策（砂防堰堤等の効果）

ソフト対策（3つの柱）

1.危険箇所の周知
土砂災害警戒区域公表：16,311カ所（のうち、令和3年3月10日時点で**区域指定済 12,642カ所**）

2.切迫した危険度の周知



3.初災害時の向上

平成30年7月豪雨被災箇所における緊急急対策

土石流やがけ崩れにより激甚な被害を受けた市予定場や松山・今治近傍において、令和5年までに緊急的に砂防堰堤や法面工を整備します。

新たな肱川水系河川整備計画に基づく治水対策の推進により流域の安全・安心が向上

Now　西日本豪雨（平成30年7月）により広範囲で甚大な浸水被害が発生

Future　肱川水系河川整備計画(R1.12変更)に基づく治水対策により西日本豪雨と同規模洪水での被害を解消

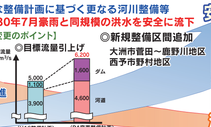
●旧整備計画(H16策定)に基づく堤防整備を前倒し完成
平成30年7月豪雨が堤防から越水しない

●激特事業等による堤防整備（R5.完成予定）

●山鳥坂ダム整備促進（R8 完成予定）

●新たな整備計画に基づく更なる河川整備等
平成30年7月豪雨と同規模の洪水を安全に流下

［変更のポイント］
◎目標流量引上げ
◎新規整備区間追加
大洲市菅田～喜多川地区
西予市野村地区



安全・安心が向上

◎野村ダム改良等

浸水被害を解消

ミッシングリンク①　四国8の字ネットワーク南予延伸

◆平成30年西日本豪雨においても高速道路は「命の道」として中心的な役割を果たした。

JRも寸断
（68日で解除）
通行止
（10日で解除）
通行止
（35日で解除）
通行止
（4日で解除）
高速道路がいち早く交通機能を確保
（1日で通行止解除）
南海トラフ地震に備えた「命の道」
内子五十崎
大洲北只
大洲
八幡浜
津島道路
10.3km
H28事業化
内海
四万十
四万十町
中村
宿毛
四万十町
四万十市
R1.12.7
R1.12.7
R1.12.7